



平和 戦没者合同慰霊祭を開催 平和の尊さを忘れないで

御前崎市戦没者合同慰霊祭が6月20日、市民会館で開催され、遺族や関係者など約300人が参列し、戦没者1052柱の冥福を祈りました。

式典では、先の大戦で祖国のために尊い命をささげた御霊^{みたま}に対して黙とうをささげた後、奉賛会会長の石原市長が「戦後70年の節目に、平和への思いを新たにし、先人の魂を受け継いで恒久平和のためにまい進していく」と追悼の言葉を述べました。



将「未来の農家サロン」を初開催 未来の農業を考える

将来の農業を担う後継者や新規就農者などを対象として、10年、20年先の農業を考える「未来の農家サロン」が6月22日、道の駅風のマルシェ御前崎で開催されました。初めての試みとなる今回は、市内の若手農家19人が参加し、農業をしていく上での悩み相談や情報共有をしながら交流しました。市は今後、農家が抱える課題などを市政へ反映させるため、今秋までサロンを定期的開催していきます。

核兵器廃絶と 世界平和実現に向けて

第2次総合計画を策定している御前崎市では、人類共通の願いである核兵器廃絶と世界平和実現のために6月29日、市議会6月定例会で御前崎市平和都市宣言についての議案を上程し、全会一致で決決して同日付けで宣言しました。

核兵器廃絶と世界平和は、御前崎市民はもとより人類共通の願いです。御前崎市の平和が存続され、受け継がれていくことで繁栄と発展があります。

戦後70年の節目を迎えた本年、原子力の平和利用に貢献してきた御前崎市では、第2次御前崎市総合計画策定年に平和都市宣言をすることで、核兵器と平和利用に限られる原子力発電とをしっかりと区分し、核兵器廃絶と世界平和を願っていることを明示します。

平和都市宣言をするにあたり、市のホームページでパブリックコメント(意見公募)を実施し、寄せられた貴重なご意見を参考にしながら、宣言文を決定しました。

御前崎市平和都市宣言

戦争のない平和な世界を築き上げることは、人類共通の願いであります。

安全で平和な社会を後世にしっかりと引き継いでいくことは、私たち国民に課せられた大きな使命であります。しかし、世界各地では今なお武力紛争が絶えず、さらに非人道的な核兵器の存在により、人類がその脅威にさらされています。

核兵器は人類の暮らしと地球環境に甚大な被害をもたらすものであります。

私たちは世界唯一の戦争被爆国の国民として、この地球上から核兵器を根絶しなければなりません。

御前崎市は、核兵器廃絶と世界平和の実現のために不断の努力を傾ける決意を表明し、ここに「平和都市」であることを宣言します。

平成 27 年 6 月 29 日

御前崎市